

旅行取扱状況の概観（平成27年11月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比118.2%と前年を大きく上回ったが、学生団体は同67.5%と前年を下回り、団体旅行合計で同97.6%と前年を下回った。企画旅行については同100.3%と上回ったが、個人旅行については前年比86.9%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比95.8%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比94.0%、学生団体は同96.6%と前年を下回り、団体旅行合計で同95.3%と前年を下回った。企画旅行については同101.7%と前年を上回ったが、個人旅行については同94.0%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、98.8%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比116.8%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の11月の総取扱額は前年比98.6%となり、前年をやや下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は取扱団体数が増加したことにより、前年比117.8%と大きく上回ったが、学生団体は、前年に取扱った複数の大型の修学旅行や研修旅行の影響により同67.5%と前年を下回った。その結果、海外団体旅行合計で同97.3%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は複数の大型企業系コンベンションの取扱いはあったものの、前年に比べ取扱団体数が減少したことにより、前年比93.4%と下回った。学生団体は修学旅行以外の研修等の取扱団体数の減少により前年比96.6%と下回り、国内団体旅行合計で前年比95.1%と下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比93.3%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、北陸、南紀、中国四国は好調を維持しているものの、全般的に伸び悩んだ。

ホリデイは、方面別取扱人数の状況では、ミクロネシアが引き続き好調を維持しているのに加え、オセアニア方面が好調に推移し、全方面合計で前年比101.2%と上回った。取扱額においてはパリで発生したテロの影響もあり単価の高いヨーロッパ方面が伸び悩み、前年比96.4%と前年をやや下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、パリで発生したテロの影響により、取扱額で前年比99.7%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道・北陸・高野山・関西の販売が堅調に推移し、取扱額で前年比101.4%と前年を上回った。

バス旅行部門は、地方創生のふるさと割ツアーの追い風を受けたことや、南東北・北陸・京都方面の紅葉および出雲大社のイベントなどが好調に推移し、取扱額で前年比116.1%と前年を大きく上回った。

テーマ旅行部門は、寺旅、歴史の旅など付加価値の高い商品の販売や海外ハイキングなど好調に推移し、前年比106.4%と前年を大きく上回った。